

# 「VC-Box (バリコンコンデンサー・ボックス) の製作」

## 0. 概要 :

『10~410pF 直読み盛付バリコン Box』を製作

## I. はじめに :

「ゲルマニウムラジオのバリコン代わり」や「ツェップアンテナのカップラ部 C」、その他同調回路のコンデンサ容量が知りたいとき、あると便利！  
今回は真空管時代の AM ラジオ用エアバリコンのジャンクが入手できたので、ポリバリコンよりは耐圧があり QRP では送信も可能と考えて「容量直読み盛付 VC-Box」を製作した。実装の際には他のコンデンサーや同軸ケーブル使用の高耐圧コンデンサーに交換。

## II. 製作・実験 :

### (1) ジャンクバリコンのチェック

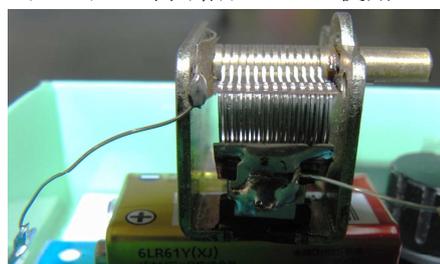
①ほこり、汚れ：歯ブラシで落とす。

②テスターで短絡(ショート)チェック

- ・外観：電極板の歪み補正
- ・固定用ベーク板：緩んで電極が

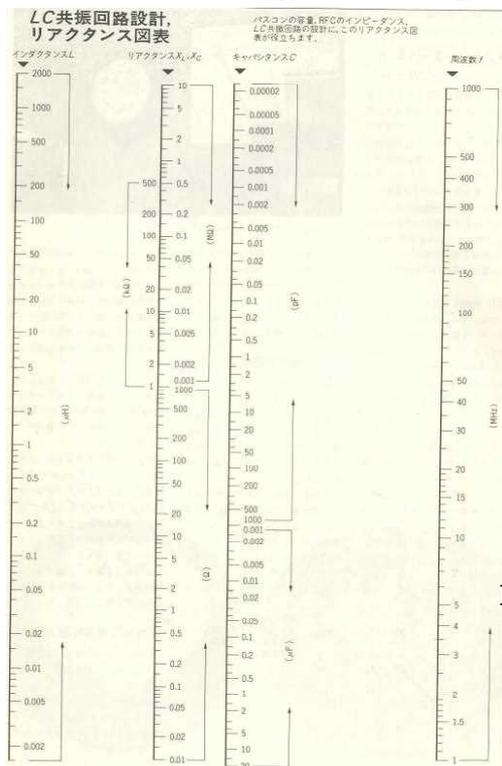
斜めになっていたのを、エポキシボンドで固定

→ 最終的に短絡なきよう！



### (2) 製作・校正：（「LCR メーター atlas LCR40」にて 10pF 単位でメモリ振り）

- ・0° 180° 付近は両電極板が接近するため、必ずしも最小・最大値とならない。
- ・バリコン本体ががっちり金属製のため、Box に手を近づけても影響なし。



完成！プラボックスへ

## III. 参考資料：左図「LCチャート」→ダニミック・ハムシリーズ「ワイヤーアンテナ」(CQ 出版 1993)

2025 for JA1YZT by JJ1TJK